

2025年度 「正会員に対する活動助成」活動報告書

(ふりがな) 団体名	いっぽんしゃだんほうじん きょうとしゃかいふくししかい 一般社団法人 京都社会福祉士会
---------------	--

■活動報告の詳細

活動名称	近畿ブロック社会福祉士会パンフレット
活動の目的	近畿ブロック社会福祉士会や各府県士会が行う研修、事業、イベント等の場で作成をしたパンフレットを配布し、社会福祉士会の活動を知ってもらい入会者数の増加を目指すとともに、社会福祉士会の存在を広くアピールしていく。
実施した活動の内容 会議・研修会・イベント等の開催日時、場所、参加者数等の活動内容の詳細を記入 ※別添（様式自由）にて提出可	【パンフレット作成のための会議】 ① 7月3日 16:30～18:00 ・パンフレットデザインの検討・・・2名 ② 7月5日 17:00～17:15 ・日本社会福祉士会全国大会会場（島根）にて、府県士会の代表者等とデザインの検討・・・10名 ③ 12月25日 18:00～20:00 ・兵庫県社会福祉士会事務所で、作成担当者3名とデザイン会社とで打ち合わせ・・・4名 ④ 2026年1月6日 17:00～18:00 ・zoomにて、作成担当者3名とデザイン会社と打ち合わせ ⑤ 2月10日 17:00～19:00 ・近畿ブロック社会福祉士会代表者、作成担当者、デザイン会社と打ち合わせ。・・・12名 ⑥ 2月15日 14:40～15:30 ・近畿ブロック代表者会議において、最終調整と意見の収集。 ●⑥以降、デザイン会社との調整、複数回の校正を経てパンフレットのデザインを確定。確定後、印刷所で印刷、府県士会に配送。 ※担当者、デザイン会社との打ち合わせは、メールのやり取り等で断続的に実施している。府県士会には進捗状況等をメールで報告 【パンフレット制作過程】 ①パンフレットの形について担当で検討した形（A4／8ページ）、を近畿ブロックの各府県士会に承諾を得て、兵庫県社会福祉士会会員が運営しているノウフクデザイン研究所にデザインを依頼。 ②掲載する内容については、12月25日のデザイン会社との打ち合わせで概要を決め、その後、調整等を行う。 ③近畿ブロック社会福祉士会の担当者には、メール等で随時、進捗状況を報告し、意見等の収集、校正を複数回実施。 ④3月10日に最終デザイン完成。その後、印刷、府県士会への発送を依頼。作成部数は20,000。デザインデータについては、近畿ブロック社会福祉士会、日本社会福祉士会に送付。

活動の成果	1. パンフレットの作成 近畿地方 6 府県の社会福祉士会は、社会福祉士会創設以降、代表者会議等で連絡を密にとり、様々な形で連携を図ってきた。現在も、6 府県の持ち回りで近畿ブロック研究・研修大会を年 1 回開催し、2025 年度には 33 回目の大会を開催した。この他、バリアフリー展でのブース出展、部門毎の打ち合わせ会議等を開催している。 このように協働して活動する中で、近畿ブロック研究・研修大会、バリアフリー展、各府県で開催する実習指導者講習会等で配布できるよう社会福祉士会の広報を目的としたパンフレットを作成することを計画した。特に広域から参加するバリアフリー展では、社会福祉士が何をしているかを理解していない人も多いため、パンフレットの作成にあたり、以下の点に留意した。 ①配布場所を踏まえ、一般の方でも理解できるものにする。分量は多くしない。 ②社会福祉士に興味を持った人に、社会福祉士取得方法が分かるようにする ③社会福祉士の活動について、ミクロ、メゾだけでなくマクロの視点も入れるようにする。 ④社会福祉士会の活動については、実際の活動の様子を収めた写真を活用する。 ⑤完成したパンフレットについては、バリアフリー展（4 月）、府県士会での活動、全国大会等で配布をする。近畿ブロックの各社会福祉士会の会員全員には配布する。 ⑥近畿ブロック以外の社会福祉士会でも活用できるようにする。 2. パンフレットデータの活用 作成したパンフレットのデータはデザイン会社から受けとった。近畿ブロック社会福祉士会の HP への掲載に活用するだけでなく、近畿ブロック以外の県士会にも活用できるよう、オープンにする。 【総括】 1、2 共に、成果が出るのは 2026 年度以降である。各府県士会の存在をアピールして入会者の増を目的したパンフレットなので、今後の活用実績等に注目して成果を確認していきたい。
活動実施を通じての課題 実施していく中で、見えてきた活動遂行における課題	1. パンフレットの配布やデータの活用については、各府県士会間で情報共有して積極的に取り組む必要がある。 2. 企画を近畿ブロック社会福祉士会の代表者全体で検討することが難しく、兵庫と京都がデザイン会社との調整窓口となって原案を作成し、オンラインで意見交換することが多かった。広域での企画調整の難しさを感じた。

活動の実施状況・実施結果に関する情報の公開 あてはまるものにチェックと内容詳細を記入ください	※貴法人のホームページでの公表は必須となります。 情報の公開方法（複数選択可） ☒ 広報誌・会報誌等で公開) ☐ その他 ()
---	--

「ひとりの困りごと」から「社会のしくみの向上」まで

「社会福祉士」という 専門職がいます

社会福祉士は 社会に必要とされ生まれた国家資格

社会福祉士は、福祉ニーズの高まりや少子高齢化など、社会の変化の中で生まれた専門職です。1987年に「社会福祉士及び介護福祉士法」が制定され、専門知識や技術、倫理に基づいた人と社会を支える国家資格となりました。

社会福祉士は、暮らしや社会のしくみを学び、さまざまな場面で支援や提言を行っています。この冊子では、社会福祉士の役割や、社会との関わりを紹介します。



『社会福祉士の専門性』を支える背景

国家試験は、人と社会に関わる19科目



社会福祉士の専門性は、現場経験だけでなく、
人や社会のしくみを体系的に学ぶことで培われています。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 医学概論 | ⑫ 社会福祉調査の基礎 |
| ② 心理学と心理的支援 | ⑬ 高齢者福祉 |
| ③ 社会学と社会システム | ⑭ 児童・家庭福祉 |
| ④ 社会福祉の原理と政策 | ⑮ 貧困に対する支援 |
| ⑤ 社会保障 | ⑯ 保健医療と福祉 |
| ⑥ 権利擁護を支える法制度 | ⑰ ソーシャルワークの基盤と専門職 |
| ⑦ 地域福祉と包括的支援体制 | ⑱ ソーシャルワークの理論と方法 |
| ⑧ 障害者福祉 | ⑲ 福祉サービスの組織と経営 |
| ⑨ 刑事司法と福祉 | |
| ⑩ ソーシャルワークの基盤と専門職 | |
| ⑪ ソーシャルワークの理論と方法 | |



詳しくは社会福祉振興
試験センターへ

職能団体で、専門性をアップデート

社会福祉士は、資格を取得して終わりではありません。
現場での実践に加え、職能団体である「社会福祉士会」の研修を通じて、
制度や支援の考え方を学び続け、専門性を高めていきます。



詳しくは日本社会福祉士会
生涯研修センターへ

【専門課程】

基礎課程を修了した会員が、
自ら計画を立て受講する継続的な学びの課程

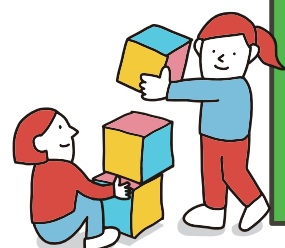
「共通研修」と「分野研修」を軸に、
スーパービジョンや成年後見人養成講座など、
実践を支える多様な研修が用意されています。

【基礎課程】(3年間)

入会後の新人社会福祉士などが、
実務に必要な価値・知識・技術を
身につけるための研修です。



基礎研修の様子(和歌山)



目の前の「ひとり」と向き合い 権利を守る、社会福祉士。

社会福祉士は、専門的な知識と倫理に基づき
一人ひとりの権利を守る、
「国家資格を持ったソーシャルワーカー」です。
ソーシャルワーカーとは、
生活での困りごとを抱える人に寄り添い、
相談や関係機関との調整を行う支援職です。
福祉・介護・医療・教育・司法など、
さまざまな分野で活動しています。



\\ ちょっと紹介 //

《社会福祉士の役割》

例えば

- 入退院のとき、生活や病気の不安を抱える人の相談を受ける
- 介護が必要な人や家族と一緒に、必要なサービスを考える
- 障害のある人の生活や就労での困りごとを聞き、支援制度を探す
- 保護者や教員と連携し、子どもに合った支援を考える
- 司法手続きが必要な人に対し、生活や福祉の相談、
関係機関との調整を行う などなど



『社会福祉士の専門性』が地域で活かされています

地域と関わり、活動する社会福祉士会

社会福祉士会では、地域に向けた研修、相談会、広報活動、支援協力など、専門性を活かしたさまざまな活動を行なっています。

例えばこんな活動をしています

安全なまちづくり

検察庁の社会福祉アドバイザーや地域生活定着支援センター相談員などが、司法と福祉の連携のもと再犯防止と更生支援に取り組んでいます。

さらに関係団体との連携を強化し、安全・安心なまちづくりに寄与しています。

災害に備えて

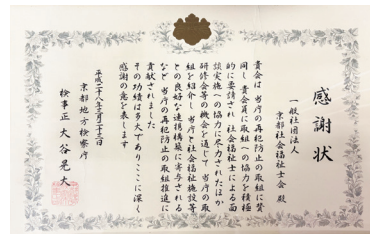
防災訓練に社会福祉士が参加し、避難者宅の訪問シミュレーションを行ったり、防災グッズの紹介など、多くの活動を行っています。

また会で開発した「防災対応力向上シート」を使い個別避難計画の重要性を伝えています。

広報・啓発活動

人生の中で、社会福祉士と関わる可能性ある場面が分かるすごろくを作成したり、「県民のための成年後見セミナー」では寸劇での事例紹介も。

また毎年開催する「ソーシャルワーカーデー」では、まちかど相談会なども開催しています。



京都地検からの感謝状(京都)



防災活動についての啓発(兵庫)



人生すごろくの作成(大阪)



奈良県地域生活定着支援センターのメンバー(奈良)



成年後見セミナーでの寸劇企画(滋賀)



個人の問題に見える「困りごと」。
実は地域や社会に深く結びついています。
社会福祉士は、住民や関係機関、専門職など
さまざまな立場の人と協働しながら、
人と人が出会い、支え合える場や関係を育て、
誰もが安心して暮らせる地域のしくみを
つくり、支えていく役割も担っています。



\\ ちょっと紹介 //

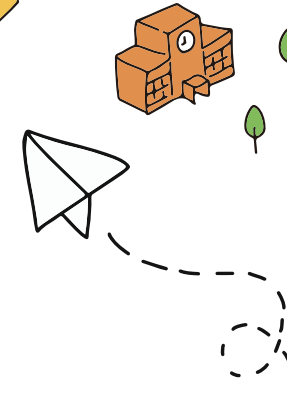
《社会福祉士の役割》

例えば

- 子ども食堂の立ち上げ・運営に関わり、交流の場を支える
- 介護を担う人が悩みや情報を共有できる場をつくる
- 学校や地域と連携し、子ども・若者の居場所をつくる
- 誰でも相談しやすく、支援につながる入口を地域につくる
- 住民や支援者向けに、福祉や支援の研修を行う などなど



互いに支え合うしくみを
「地域」につくり、育てていく。



『社会福祉士の専門性』を社会に広げています

社会にはたらきかける社会福祉士会

日本社会福祉士会を中心に、現場での実践から得た気づきをもとに、
声明や提言などを通し、社会にはたらきかけています。

例えばこんな
活動を
しています

調査・研究事業

社会福祉士学会での発表や
研究誌への論文投稿を促し、
社会福祉士の実践研究力の
向上を図っています。

また国などから助成・補助・委
託を受けて調査研究を実施し、
制度・サービスの新設・改善に
寄与しています。

声明や提言

社会の不平等や制度の課題
に対して、生活と人権の視点
から意見や改善の方向性を
示す声明を発信しています。

また毎年、国への提案として
関係省庁に対し、制度の課題
をふまえた予算・制度改善の
要望を行っています。

多文化ソーシャルワーク

多様な文化的背景を持つ人々
への支援のあり方について調
査・研究に取り組んでいます。

外国にルーツのある人たちが
置かれている状況や生活上の
課題を明らかにし、より包括的
な支援のしくみづくりに貢献
することを目指しています。



被災地での支援活動



自治体の要請による災害時の訪問活動



日本社会福祉士会全国大会での、実践事例や研究成果に関する発表



個人や地域での困りごとの背景には、
制度や社会のしくみに課題があることも
少なくありません。

社会福祉士は
現場で見えてきた課題をもとに、
制度の改善や新たなしくみづくりに向け
社会にはたらきかける役割もあります。
暮らしと社会全体をつなぐ視点を持ち、
誰もが生きやすい社会をめざします。



\\ ちょっと紹介 //

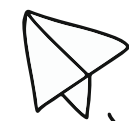
《社会福祉士の役割》

例えば

- 地域の実態をふまえ、制度やしくみの見直しに関わる
- 行政との協議や審議会・委員会などに参画する
- 制度改善や法改正に向けた提言を行う
- 調査や研究を通して、課題を社会に発信する
- 権利侵害や不平等の是正に向けた取り組みを進める などなど



「社会」にはたらきかけ、
声を届け、未来を支える。



社会の「求め」に専門性と倫理で応える

社会福祉士は

社会の人々とともに、

すべての人の尊厳と平等を前提に、

不平等を是正し、社会正義の

増進をしていく専門職です

人権、多様性、平和を大切にし、

社会の変化や生活の実態に向き合い、

人と社会、制度と生活をつなぎ、

誰もがつながりの中で

生きられる社会をめざします。

そのために

専門的な知識と倫理に基づいて、

一人ひとりの人生に向き合い、

地域や組織にはたらきかけ、

国の制度やしぐみに声を届けます。



わたしたち社会福祉士は、「社会福祉士の倫理綱領」を軸に活動しています。

倫理綱領は、専門職として大切にする価値観と基本姿勢を示したものです。

上記の文章も、その理念をもとに作成しています。

全文は、日本社会福祉士会のウェブサイトでご覧いただけます。

※サイトを閲覧するには右の二次元コードを読み取ってください。.....>



本パンフレットは、近畿2府4県の社会福祉士会で構成する、近畿ブロック社会福祉士会が発行しています。
社会福祉士会への入会をご検討の方は、職場、またはお住まいがある府県の会事務局にお問合せください。

(公社) 滋賀県社会福祉士会

ホームページ

滋賀県草津市笠山7丁目8-138
滋賀県立長寿社会福祉センター内
tel:077-561-3811 fax:077-561-3835



(一社) 奈良県社会福祉士会

ホームページ

奈良県橿原市大久保町320-11
奈良県社会福祉総合センター5階
tel:0744-48-0722 fax:0744-48-0723



(一社) 京都社会福祉士会

ホームページ

京都府京都市中京区竹屋町通烏丸東入る
清水町375 ハートピア京都7階
tel:075-585-5430 fax:075-585-5431



(一社) 和歌山県社会福祉士会

ホームページ

和歌山県和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛6階
tel:073-499-4529 fax:073-499-4529



(公社) 大阪社会福祉士会

ホームページ

大阪府大阪市中央区谷町7-4-15
大阪府社会福祉会館1階
tel:06-4304-2772 fax:06-4304-2773



(一社) 兵庫県社会福祉士会

ホームページ

兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター3階
tel:078-265-1330 fax:078-265-1340

